

★2013年6月5日、福島県の発表では、17万4千人を検査した結果、甲状腺癌と確定が12人、要再検査（ガンの疑い）が15人でした。

現在の検査技術では、再検査のほとんどがガンと確定するらしいので、おそらく27人の甲状腺癌は間違いないでしょう。

これは6444人中一人の割合で発生している事になり、通常100万人に1人程度と言われている小児甲状腺癌の発生率は、福島ではなんと、通常の150倍以上に跳ね上がっています。

この検査はまだ途中であり、今後さらに結果は増えていくでしょう。

\*そして、その検査体制には疑問の声も上がっています。

「民間で甲状腺検査をしたら、福島県とは違う結果に」

<http://ameblo.jp/misininiminisi/entry-11552352326.html>

\*同様の事故を起こしたチェルノブイリ原発をかかえるベラルーシでは、事故前は1000万人中2人しか確認されていなかった小児甲状腺癌が2年後には5人（2.5倍）、4年後に29人（15倍）が発症。この時点で政府は放射能の影響を認めています。

チェルノブイリの4年後より10倍悪い福島県

<http://blog.goo.ne.jp/syokunin-2008/e/359f386c49f2af24a5bfbc0078b0fac>

放射性物質が、甲状腺だけでなく様々な疾患を引き起こす事は、チェルノブイリだけでなく世界中で確認されています。IAEAやWHOが認めるか認めないかに関わらず、多くの人々が病気に苦しみ、死んでいるのは、厳然たる事実です。

甲状腺癌だけを見ても、これほどの早さで被害が広がっている事を考えると、日本の今後を心配する声上がるのは当然です。

\*1986年4月のチェルノブイリ原発事故で、爆発したのは一基の原子炉ですが、日本は3基の原発が爆発し、4つの使用済み核燃料プール（使用済み燃料は通常の燃料より毒性がさらに強い）が「野ざらし」になっています。

さらに、漏れ続ける汚染水により、海の汚染は深刻です。

\*チェルノブイリ原発から約150kmの位置にあるベラルーシのゴメリという町では事故から16年後に、「何らかの疾患を持たずに生まれて来る新生児は20%になっている」と言われていました。（映画チェルノブイリハート）

2012年来日したバンダジェフスキー博士と、ゴメリ市の病院に勤務する医師によると、「現在（事故後26年）疾患を持たずに生まれてくる新生児は2%になってしまった」との事です。

20111218a福島第一原発20km圏内の光景『特命報道記者X 2011』

<http://www.youtube.com/watch?v=UrJxffmh38c>

\*ウクライナ放射線医学研究センターのエフゲーニャ・ステパノワ博士によると、2011年現在、健康な子供はウクライナ全体で27%。政府が認める汚染地域の子供はその半分ぐらい（14%？）になっているそうです。

チェルノブイリからの警告～5万人の子どもを診察した医学博士（約30分）

<http://www.youtube.com/watch?v=GQJ4MRnCBi8>

非汚染地も含めて、健康への影響が増えているのであれば、ソレは、**食品による内部被曝の影響**以外に考えられないのではないのでしょうか？

現在のところ「放射能の影響かどうか解らない」とされている健康被害も「コレが原因です」と断定できる証拠は、放射能以外には見つかっていません。

事故を起こした福島原発と、同じ日本国内にある沖縄が、影響を受けないはずは有りません。

\*WHO世界保健機関とIAEA国際原子力機関が共同で開催した、2001年キエフ国際会議の様態を捉えた、とても貴重なドキュメンタリーです。内部被曝の実態や、その証拠がどのように隠されてきたかを目の当たりにすることが出来ます。

「真実はどこに？」—WHOとIAEA 放射能汚染を巡って（約50分）

<http://www.youtube.com/watch?v=oryOrsOy6LI>

\*ベラルーシと日本の現状を、映像で見比べています。

日本の食品新基準値とベラルーシの基準（約5分）

<http://www.youtube.com/watch?v=JyBrDLq7A8o>

\*多くのドキュメンタリーがまとめてあります。

チェルノ・福島・原発・放射能関連動画音声

[http://www.youtube.com/playlist?list=PLjF4tckxD\\_cLpvJ6Y-kobaOGC4MeMUgG &feature=view\\_all](http://www.youtube.com/playlist?list=PLjF4tckxD_cLpvJ6Y-kobaOGC4MeMUgG&feature=view_all)

畑の土などの、人為的な土壌汚染の広がりや、深刻化して行く可能性があります。みんな注意をしていきましょう。

農家の皆さんへ緊急のお知らせ

<http://iinuma.michikusa.jp/housya/nukamondai-2.pdf>

現在の地球上で食物連鎖の上位にいるのは、間違いなく人間です。今、環境に放出された放射能は食物連鎖というサイクルに乗って「人間」めがけて突進しているのです。

\*この資料「内部被曝の危険性 まとめ」追記2013/8 のダウンロード先

<http://iinuma.michikusa.jp/housyanourink.html>

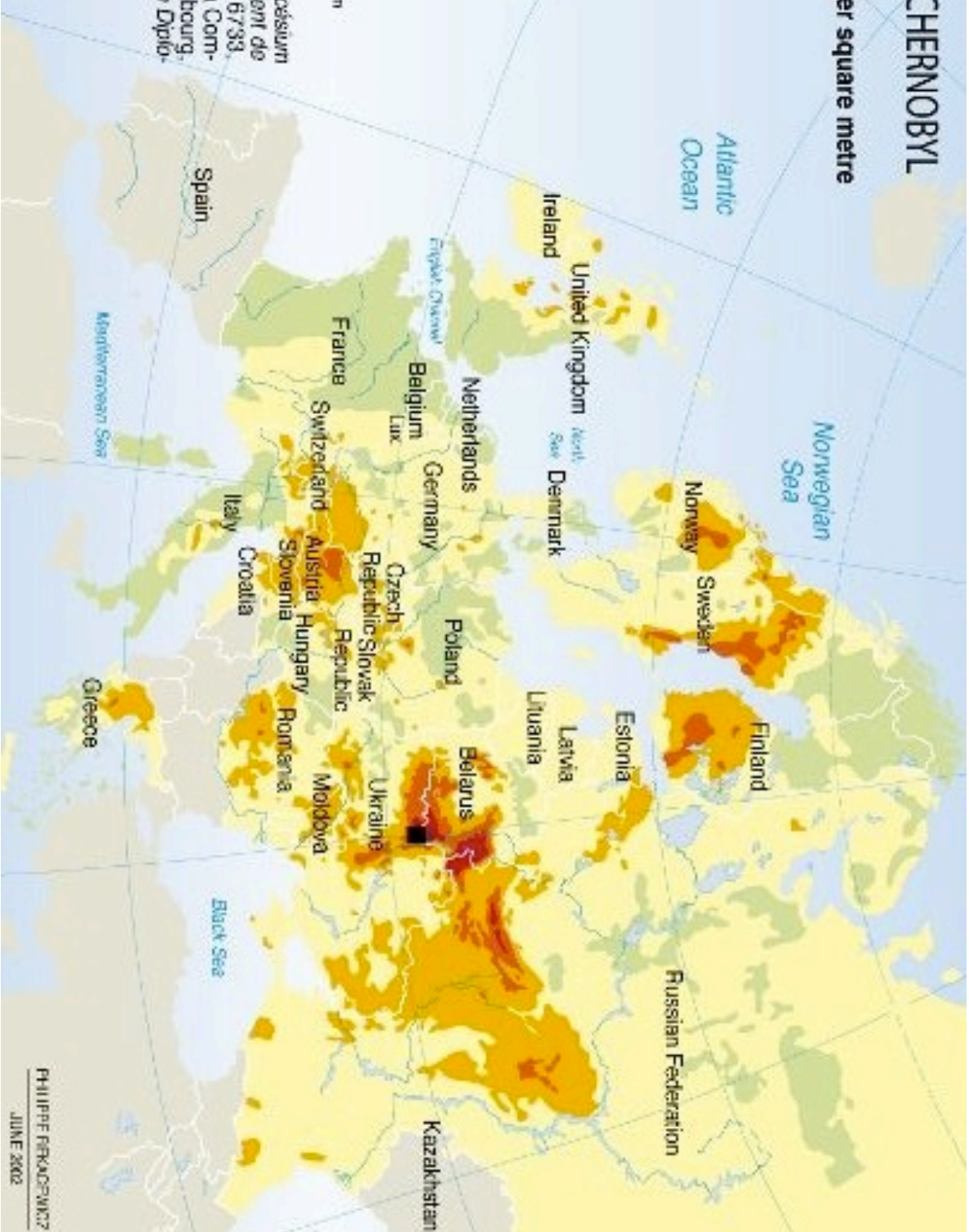
[http://iinuma.michikusa.jp/housya/naibuhibaku\\_tuiki.pdf](http://iinuma.michikusa.jp/housya/naibuhibaku_tuiki.pdf)

# RADIATION FROM CHERNOBYL

Kilobecquerels (KBq) per square metre

- more than 1,480
- 185 to 1,480
- 40 to 185
- 10 to 40
- 2 to 10
- less than 2
- No data
- Chernobyl plant

0 500 1,000 km



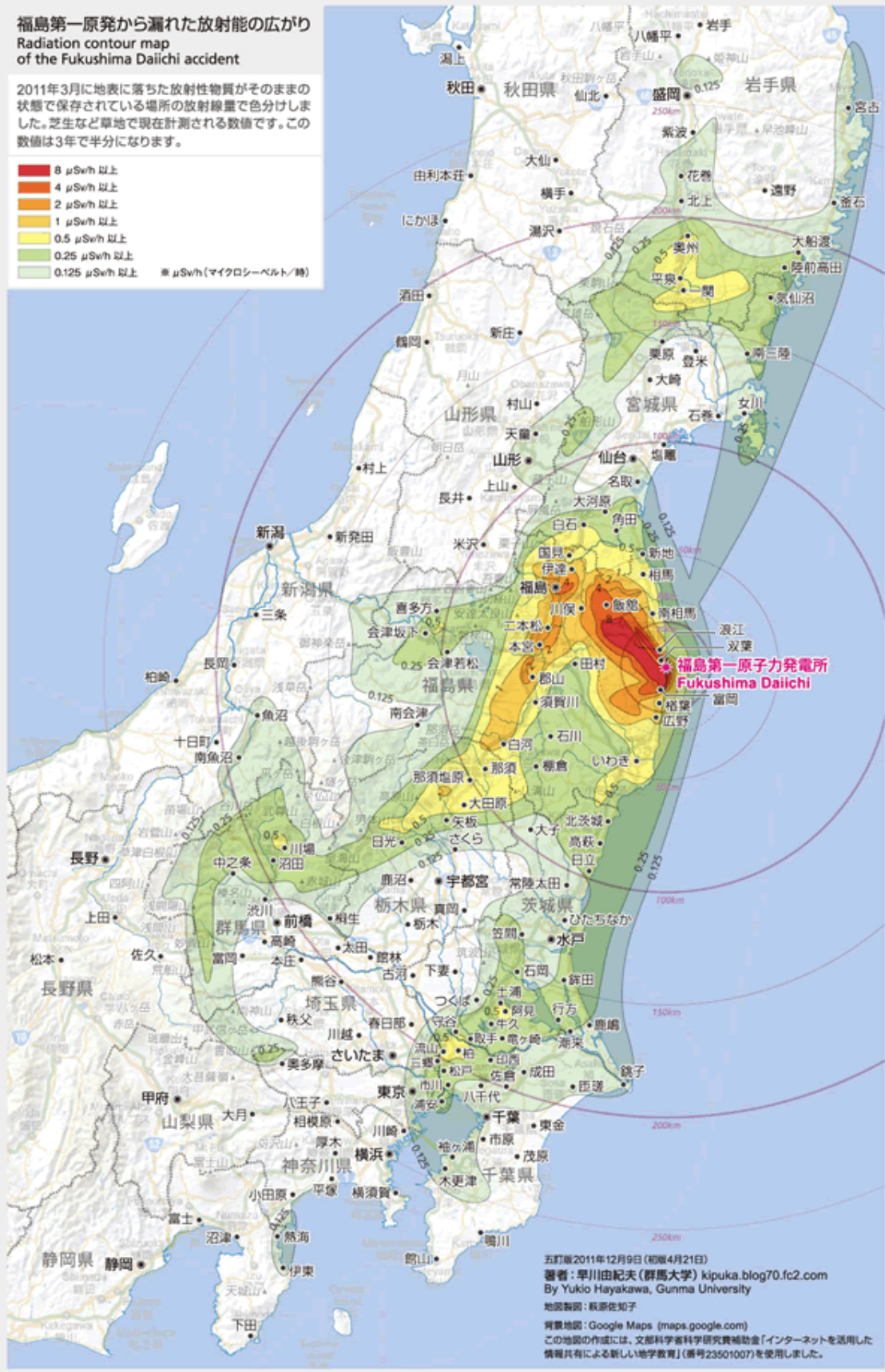
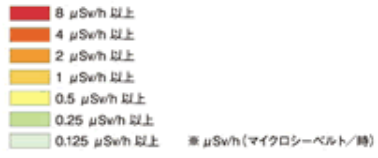
Sources: Atlas des dépôts de césium 137 en Europe après l'accident de Tchernobyl, rapport EUR 16733, Bureau des publications de la Communauté européenne, Luxembourg, 1986. Adapted from Le Monde Diplomatique, July 2000.





**福島第一原発から漏れた放射能の広がり**  
**Radiation contour map**  
**of the Fukushima Daiichi accident**

2011年3月に地表に落ちた放射性物質がそのままの状態では保存されている場所の放射線量で色分けしました。芝生など草地で現在計測される数値です。この数値は3年で半分にになります。





チェルノブイリ事故後の北ウクライナ住民の疾病罹患状況

